

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003年8月12日

2003年8月10日現在：

8月5日、続いて6日に各地で雷雨が発生した。Washington郡では5日に0.5～1.2インチを記録し、Sherman郡でも8月5日に0.2～1.2インチの降雨があった。小麦にとり遅すぎる降雨であった。一時的に気温は下がったが、週を通して平年を1～7度上回る気温であった。Malheur郡（州東北部）では雹の被害が発生した。この1週間の州平均農作業稼働日数は6.4日（前週：6.6日）であった。

小麦の収穫は最終段階にあり、降雨は多少収穫作業を遅らせる結果となった。Sherman郡の小麦収穫は5日の降雨で中断した。Union郡の冬小麦の収穫は進んだが、容積重に振れが出ている。現在のところ48～64lb/buと報告された。Morro郡にても雷雨で収穫作業が中断した。Wasco郡では降雨の影響は少なく収穫は順調に進みだ。単位収量は多くの圃場で40 bu/acre程であるが、20～90 bushelsと圃場毎の振れが大きいと報告された。

ウイラメット盆地の小麦も収穫が進み、Washington郡では冬小麦の単位収量は90～125 bu/acreと報告された。成熟が早く、各地で急速に収穫作業が進んだ。Polk郡の冬小麦の単位収量は良好で、100～130bu/acreと報告された。

8月10日現在、全州の冬小麦の80%が収穫された（昨年：69%、平年：51%）。春小麦の収穫も昨年並びに平年より極めて早いペースで進み、全州の69%で終了（昨年：55%、平年：44%）した。

ソフト小麦の品質は、容積重は58.0～61.4 lb/bu、蛋白質は低い物で8%程度も有るが平均10.8～11.5%（水分12.0%ベース）と報告されている。

USDAの8月1日付け小麦生産量予想では、冬小麦は7月1日予想より5 bu/acre低くなった。春小麦も7月1日予想より低い予想となった。登熟期の高温・乾燥気象の為と言える。USDA発表の数値は別表の通りである。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	36	45	19	0
Subsoil (%)	39	43	18	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr Average
Winter wheat Harvested (%)	85	70	83	72
Spring wheat Harvested (%)	69	64	55	44

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2003年産冬小麦の品種：<http://www.nass.usda.gov/or/whtvar03.pdf>にて2003年産冬小麦の品種について詳細が説明されています。

次頁に続く：

8月1日付け農務省発表の小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	710	950	41.0	53.0	48.0	29,110	45,600
Spring	140	135	35.0	40.0	35.0	4,900	4,725

当該作柄レポートに関するご質問・ご意見は下記宛てにお願い申し上げます。

小川正晃：E-Mail ogawa.max@omicnet.com

以上